



# 福島地区連合ニュース

発行所／福島地区連合 発行人／紺野 淳 福島市仲間町 4-8 ラコパ 5 階 TEL526-0123 fax526-0124  
<http://fukushima.jtuc-rengo.jp/> (連合福島ホームページ) → 地域連合 → 福島地区連合 → 福島地区連合ニュース



福島地区連合  
議長 伊藤秀治

新年あけましておめでとうの挨拶です。

ご家族、ご友人と共に健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。福島地区連合を代表し、新年にあたってご挨拶をさせていただきます。

昨年は、みなさんにとっては、どんな年だったでしょうか。

年頭にあたって、今年が良い年でありませうと祈念し、一年のスタートを切るわけですが、海外では、イスラム国（IS）の多発テロなどが拡大をつづけておりますし、シリア難民の問題についても一向に改善の気配すら感じられません。そのような中、昨年は米国大統領選挙があり、大方の予想に反し、ドナルド・トランプ氏が次期米国大統領に決まりました。何故か、自国保護主義を強く唱える人たちが国民から受け入れられており、世界的に見ても同じ傾向にあるようでありませう。いずれにしましても、今年はこの人が注目的になるのは間違いないところでありませう。一方で国内に目を転じますと、熊本県と大分県で相次いで震度七を観測する地震が四月十四日夜および四月十六日未明に発生しました。東日本大震災からまだ五年というタイミングでもあり、熊本城など数々の文化遺産が被災してしまい、あの当時の記憶がまだまざとよみがえってまいりました。又、年の押し迫った、十二月二十二日には、新潟県糸魚川市にて、家屋百四十四棟が類焼した大火が発生し、多くの方々が、被災されました。改めてお見舞い申し上げるとともに、災害への備えの重要性を心に刻んだところであります。

国政に於いては、相変わらず一強他弱の安倍政権の暴走がつづいていますが、昨年七月に行われた第二十四回の参議院議員選挙では、選挙区選挙において、前回の参議院議員選挙から、定数が二名から一名に減じられたこと、又、今回の選挙から選挙年齢が十八歳に引き下げられたことなどにより従来の選挙構図から大きく変わるとともに、安倍内閣の一員でありました現職法務大臣が相手と言う事もあり、各方面から注目される選挙となりましたが、結果として、これまでの両候補の六年間の取り組みに対し、有権者が良識的な判断を下し民進党の現有議席を守れたことは、大きな成果だったと思います。しかしながら一方で、野党共闘のあり方に異論があったことも事実であり、地区連合としても、課題のこったものとして捉えているところであります。衆議院議員選挙についても、北方領土解散のめぐろみははずれ解散が先のばしになったとはいえ、いつ解散となっても組織の力が最大限発揮できるよう備えが必要と考えています。また、今年には県内各地において、首長選挙が執り行われます。連合福島の方針に則りながら活動を展開してまいりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。今年一年の組合員の皆様、ご家族の皆様方の活躍と健康 そして何よりも今年こそ災害の無い一年になることを祈念し、年頭に当たってのご挨拶とします。



平成二十九年 元旦

